

営農組織を組めない 集落の指導はどうする



小野 マサ 議員

時期、水田農業政策、経営安定政策に対する、仙北市の誘導策及び予算措置は十分か。

質問 現在の市の農家数は、認定農業者何人か地区毎に、認定年齢は合併前は差があったのか、現市として統一されているのか、今後増やしていく見込みがあるのかお答え頂きたい。

集落営農組織に手上げしている組織は何軒か、認定農家と集落営農組織として時期対策に参加出来る農家数は市の全農家数の何割位の見込みか、中山間地域で農地が少ない場合の特例規準を市ではどのように考えているのか説明をお願いしたい。

営農組織を組めない集落に対する指導はどうするのかお聞きしたい。
税、経理等についてのパソ

コン教育等により指導を図る必要がある、また、優良法人の視察や講師を招いての事例研修等の計画はもっているのか、人的、金銭的支援がどのようにに予算に組み込まれているのか聞きたい。

市長 農家戸数二千七百二十六で田沢湖約千八百六戸、角館町九百五戸、西木町七百三十五戸認定農業者三百五十人で田沢湖百七十一人、角館町八十二人、西木町九十七人仙北市にいる。認定年齢は今後仙北市として基本構想を策定し統一した考えを示した中で、認定農業者のあり方についても統一化、指導していく。

集落営農組織については、正式に申し込み受けるのはこれからと思っている。農業法人の設立は三戸と聞いている。集落は現在二百七十九あるがその中の三十集落ぐらいは組織化の可能性があるかと現在考えている。営農組織が組めない農家については三つの協議会で統一を図り同じ考え

方の中で進めていく。経営等に関する事については、国庫事業を活用しながら地域担い手育成総合支援協議会を主体にして経理ソフト等の講習会を予定している。先進地視察研修も考えている。

質問 男女協同参画社会づくりに関する進捗状況について

市長 市の行政改革プロジェクトの中の女性の位置

づけは。

市長 次長、部長の幹部職員になって頂き女性の立場としてのいろいろな経験、考え方を反映していきたい。

質問 市で働くパート、非雇用者に対する待遇改善策は。

市長 週二十時間以上の場合雇用保険、週三十時間以上の場合社会保険に加入しています。六ヶ月以上は十日の有給を付与している。

県道日三市線の早期改良、雫田、野田までの県道編入と改良について



門脇 健郎 議員

市長 雫田、野田線、現在改

良中の日三市線に繋がって国道四十六号線に繋がっている西明寺地区、雲沢地区の連絡道路であり、合併して各地域の良さもあるが、各地域の持っている施設を有効に利用できる道路網整備にあつてその合併の意味も生まれてくると考えている。地域間連携の主要道路を整備していく必要があり、そのような観点からも強気に県道編入と道路改

良を要望して行きたい。
国道四十六号線、一〇五号線を結ぶアクセス道路の建設について

質問 二本の国道は角館町、田沢湖を結ぶ線、一方は角館町、西木町を結ぶ国道、西木町と田沢湖を結ぶ最短道路がありません。市民の交流の為にアクセス道路が必要と思うが建設計画があるかお聞きしたい。

市長 仙北市は東西に国道の四十六号線が走り、南北に一〇五号線が走っているとはいえ、地域間が円滑に行き来できるとは言えない状態。両国道を結ぶ道路は、緊急時の避難道路や観光の周遊道路にもなる。ルートに関しては今後の検討課題だが、前向きに整備を考えていきたい。



なぜこんなに狭いの